

茎数を確保するため、水深5cmを維持しましょう！

- 稲の葉が黄色かったり、茎数が少ない、ということはありませんか。これは、低温が続いていることが原因。
- 葉色の回復、目標茎数の確保のために、5cm程度の水深の維持が必要。
5cmより浅い ➡ 保温効果が低い
5cmより深い ➡ 茎数が増えにくい

6月15日の調査結果

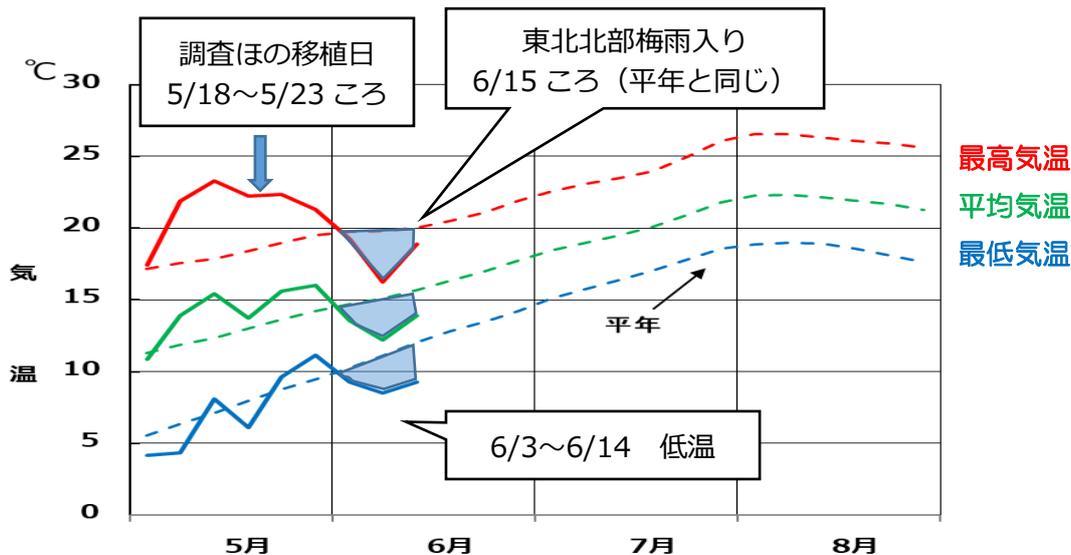
| 調査地点 | 品種 | m ² あたり茎数(本) | 平年比 |
|--------|-------|-------------------------|-----|
| 洋野町宿戸 | いわてっこ | 263 | 61 |
| 洋野町阿子木 | いわてっこ | 210 | 72 |
| 久慈市大川目 | いわてっこ | 166 | 92 |
| 野田村泉沢 | いわてっこ | 147 | 61 |

6月中に確保すべき品種ごとの目標茎数

| 品種 | m ² あたり茎数(本) | 株あたり茎数* (本) |
|--------|-------------------------|-------------|
| いわてっこ | 310~380 | 18~22 |
| あきたこまち | 370~400 | 21~23 |
| たわわっこ | 230~260 | 13~15 |



※坪あたり60株植えの場合



中干しの適期については、6月23日の調査実施後にお知らせします

お問合せ先：JA 新いわて久慈営農経済センター（電話 0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（電話 0194-66-9683）